

取組内容（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	石川県
地方公共団体名	石川県金沢市		
取組名称	金沢MaaSコンソーシアムによる デジタル交通サービスWebアプリ「のりまっし金沢」の社会実装		
連携自治体、企業、団体等	金沢MaaSコンソーシアム構成団体（北陸鉄道、金沢市ほか30企業・団体）		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野） 交通
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○ 金沢MaaSコンソーシアムは、シームレスかつ自由に移動できる次世代交通サービスの実現に向け、交通事業者、行政をはじめとしたさまざまな関係者からなり、共通のマインドのもと一致団結して取組を推進している。IoTやAIが可能とする新たなモビリティの導入を含め、多様な移動手段を、一つのサービスとして提供することにより、全ての市民等が自由かつ最適に移動できる状態を目指す。</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて、まちなかにおける車中心から人中心の歩いて暮らせるまちづくりを形成するとともに、コロナ禍や燃料価格高騰といった危機的な状況にあって、デジタルを活用することにより、公共交通の持続可能性を確保しつつ、新サービスを構築することで、まちづくりそのものを変革する。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○ 人口減少・高齢化に加えコロナ禍における生活様式の変化により、交通事業者や行政等が公共交通の持続可能性に強い危機感を持ったことから、共通マインドのもと一致団結してデジタルを活用することで公共交通の持続可能性と住民サービスの向上を図ろうとするもの。</p> <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <p>○ 従来、市内の1日フリー乗車券は、窓口によるチケット販売のみで、コロナ禍以前は、混雑期のチケット購入に際し、待ち時間が長く不便であるとの声が上がっていた。そのため、金沢MaaSコンソーシアムでは、デジタル交通サービス「のりまっし金沢」をローンチ。バスや鉄道線のフリー乗車券をアプリ化し、観光客はもちろん、住民に対してもサブスクリプション方式による新しい公共交通の利用スタイルを提案した。また、コミュニティバス「ふらっとバス」にロケーションシステムを導入し、待ち時間のストレス解消を図った。</p> <p>これらのデジタル化により、今年度新たに、①まちなかの商店等におけるクーポン連携や、②私鉄線とバスの乗継円滑化を図る予定。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>●のりまっし金沢会員登録数 7,325名（うち金沢市在住3,142名） 【R4.3.31実績値】</p> <p>●金沢市内1日フリー乗車券販売枚数（デジタル：紙券） デジタル券 6,968枚（約4.5%）：紙券 146,282枚（約95.5%） 【R3.11.1-R4.3.31実績値】</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>2021年の制度導入に際しては、ローンチまでのスピードを優先し、Webアプリとした。</p> <p>また、利用モニターを募集し、市民への普及を促すとともに、アンケートを実施し、需要の掘り起こしを行った。</p> <p>公共交通の利便性を向上させるためには多くの関係者の理解と協力が不可欠。金沢MaaSコンソーシアムの中で「世の中を良くしよう」というマインドを皆が共有できるよう頻りに会議を行い、ライバル企業同士や、官民が一致団結して取り組めるような気運の醸成を図った。（これまでライバル同士であった企業同士が協力し、「のりまっし金沢」のサービスを活用してバスの利用促進を図るという取組にもつながった。）</p>
<p>今後の展望</p>	<p>①ネイティブアプリ化することにより、市民利用の利便性を向上する。</p> <p>②まちなか商店等とクーポン連携を図ることにより、市民の外出機会を増やし、まちなかの賑わい創出と公共交通の利用を同時に誘導する。</p> <p>③私鉄線とバスとの乗り継ぎ抵抗をデジタル化により軽減し、円滑化することにより市内における移動の利便性を向上し、需要拡大を図る。</p>

金沢MaaSを巡る最近の動き

- 金沢MaaSコンソーシアムでは、令和3年8月の設立以降、デジタル交通サービス「のりまっし金沢」で、バスや鉄道線のフリー乗車券のアプリ化の実証実験を開始。令和4年2月には様々な業界から新たに25者（企業・団体）が正会員として加入。
- 今後は相互に協力して様々な課題解決のためのプロジェクトを実施予定。

▼バスや鉄道のフリー乗車券デジタル化実証実験の概要

- ・ Webアプリ「のりまっし金沢」で乗車券を購入し、スマートフォンを提示してのチケットレス乗降が可能
- ・ いつでも（時間）、どこでも（場所）キャッシュレスで購入可能
- ・ 人数分の乗車券一括購入し、利用が可能

ポイント

「いつでも・どこでも買える、サブスク感覚で乗れる」特徴を活かし、市民や来街者のさらなる公共交通利用を促す

「のりまっし金沢」におけるサービス開始時期

- バスの金沢市内1日フリー乗車券：令和3年10月
- 北陸鉄道（石川線・浅野川線）の各種フリー乗車券※：令和4年1月
- ※鉄道線全線1日フリー乗車券、土日祝限定1日フリーエコきっぷ



▼ふらっとバスロケーションシステム（令和3年7月から）



▼公共シェアサイクル「まちなり」リニューアル（令和2年3月から）

- 「まちなり」リニューアルのポイント
- ・ サイクルポートが約50箇所に拡大
- ・ 自転車は全台電動アシスト機能付き
- ・ 24時間利用可能
- ・ サイクルポートまでの案内機能
- ・ 自転車の予約機能 など

